

# みらい

第53号

2022. 秋号



(和歌山市出身の女性作家、有吉佐和子氏の資料を展示する有吉佐和子記念館)

特集

## ◆あなたの身近な男女共同参画

～家庭内での男女共同参画～

◆ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて!!

◆女性に対する暴力をなくす運動

～パープルライトアップ～

◆SOGIについて知っていますか?

◆みらい相談室

◆男女共生推進センター“みらい”

# あなたの身近な

～家庭内での

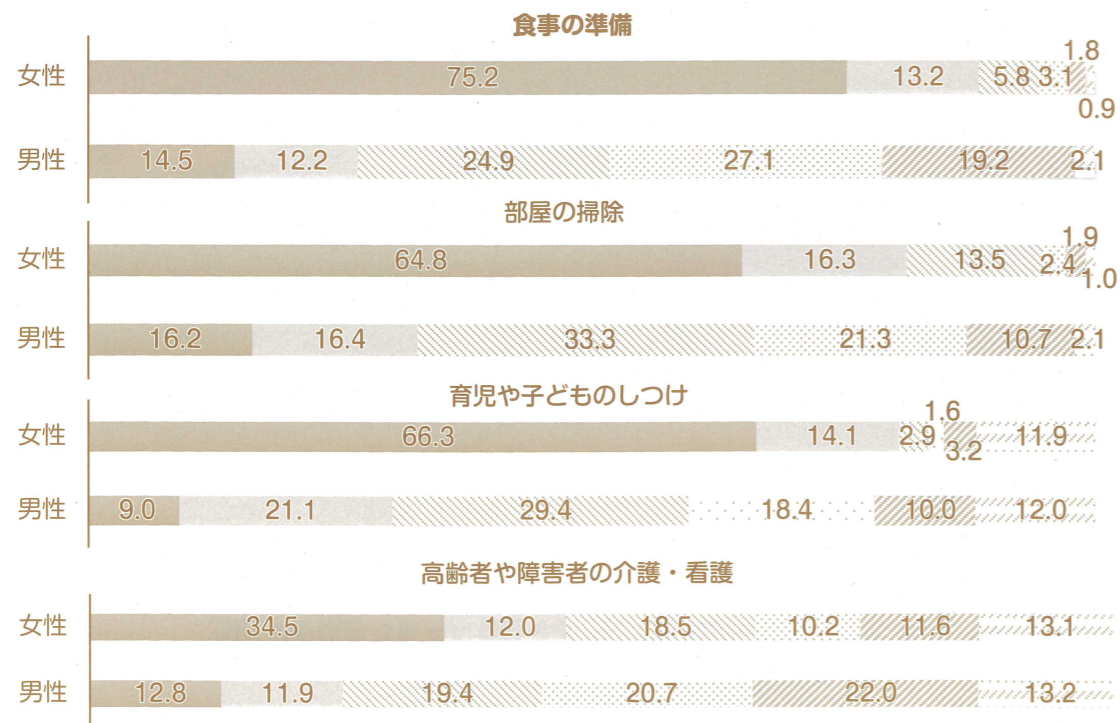
男女共同参画社会って何だろう？

男女共同参画社会とは、男女が互いに人権を尊重して、「女性」や「男性」というイメージに当てはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に活かして活躍することができる社会のことです。

この男女共同参画社会を実現するためには、学校や職場、地域社会、そして家庭などあらゆる分野で男女が互いに対等なパートナーとして協力していくことが重要になってきます。今回は私たちの身近な場である「家庭」における男女共同参画について考えてみましょう。

## ○家事の役割分担はどうなっているの？

令和2年度に和歌山市男女共同参画に関する市民意識調査を行いました。



このグラフから、家事、育児や子どものしつけ、高齢者や障害者の介護・看護について女性の方が多く担っていることがわかります。どうして家庭内での仕事に男女の差が出るのでしょうか。

女性の方が家庭で生活する時間が長いからということも考えられますが、自分たちで気付かないうちに「家庭内の仕事は女性の役割、女性の方が得意なはず」と思い込んでいるからかもしれません。



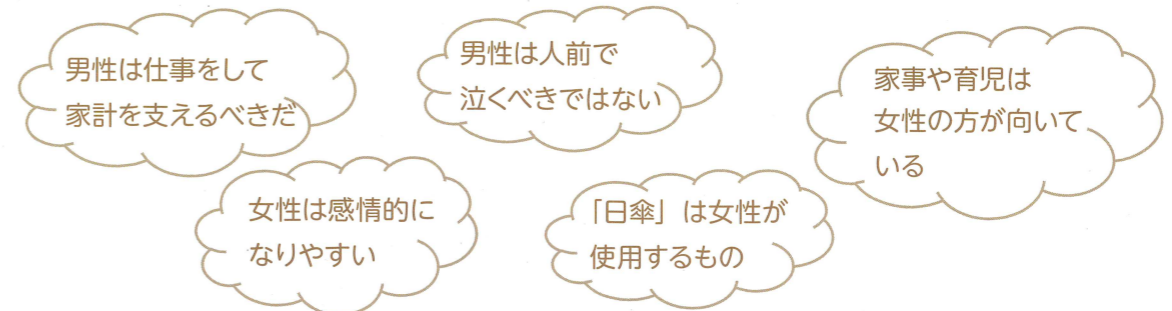
# 男女共同参画

男女共同参画～

## アンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスとは、誰もが潜在的に持っている思い込みのことで、日本語では「無意識の思い込み」「無意識の偏見」などとも表現されます。

あなたには、こんな思い込み、ありませんか？



アンコンシャス・バイアスに気付かずにいると、時に相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまうことがあるかもしれません。アンコンシャス・バイアスは無意識なものであり、完全になくすことはできませんが、自分の「思い込み」や「決めつけ」に一人ひとりが気付くことが多様性を認める社会の実現の第一歩になります。



## 家庭内の男女共同参画を実現するためには…

- ☺ 家事はみんなの仕事です。互いの知識と能力を活かして、一人ひとりができることを協力して行いましょう。
- ☺ 名前のない家事（掃除、洗濯といった代表的な家事に含まれにくい細かな作業や家事）を家族で確認して、誰か一人の負担にならないようにしましょう。
- ☺ 性別に関わらず小さいころからお手伝いを習慣化しましょう。
- ☺ 家事や育児、介護はしてもらって当たり前と思わずに、つねに感謝の気持ちを持ちましょう。

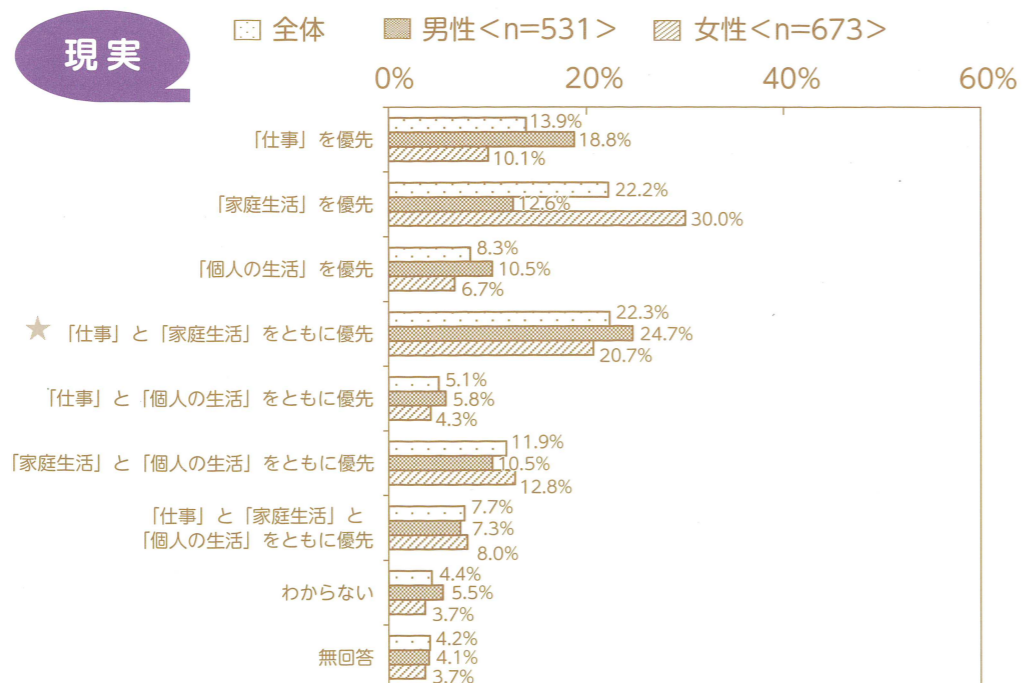
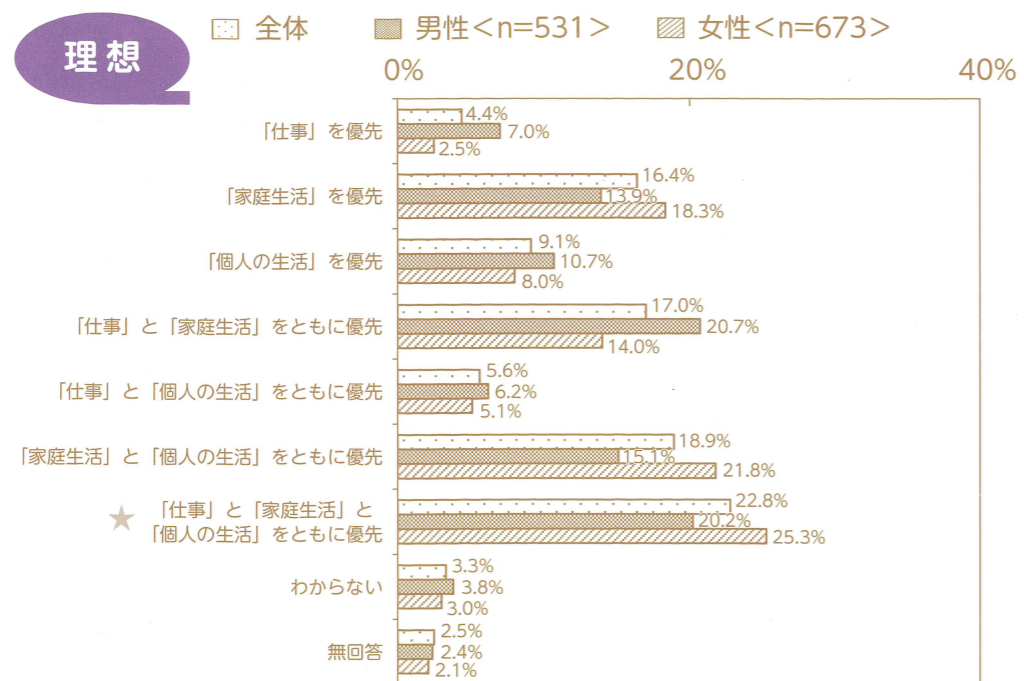
- 男性も女性も家族全員で協力して家事や育児、介護を行うことで一人ひとりの負担は軽くなります。そうすることで、一人ひとりの精神的なゆとりも生まれます。
- どんなことでも、女性だからこの仕事が得意、男性だからこの役割を担わなければいけないということはありません。性別ではなく、一人ひとりの個性や能力を考えて、互いを思いやって行動することが重要です。皆さんもまずは自分の身近なところから「男女共同参画」を意識して行動してみませんか。

# ワーク・ライフ・バランス

## ワーク・ライフ・バランスってなに？

仕事と生活の調和と訳され、仕事にやりがいや充実感を感じ、責任を果たしながら、その一方で、子育てや介護、家庭生活や地域生活、個人の自己啓発などといった個々の私生活も充実させるという考え方やその取組のことです。

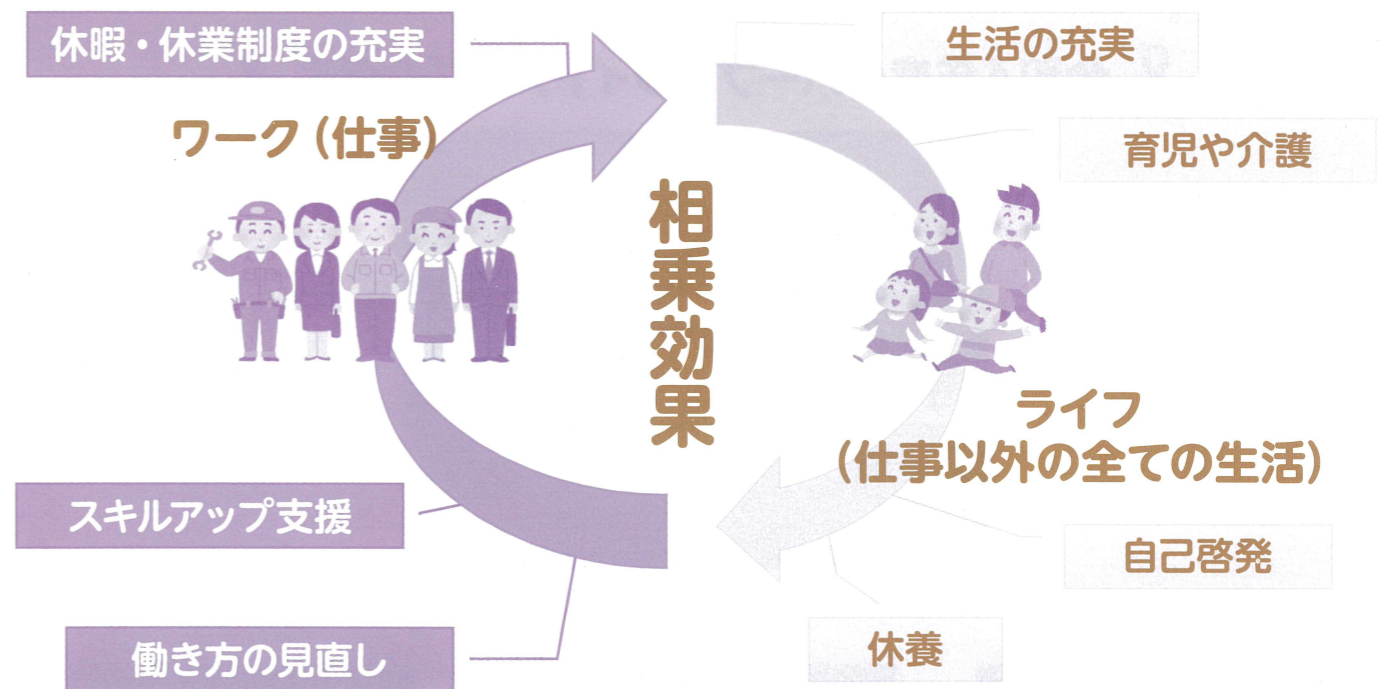
令和2年度市民意識調査の結果では、令和2年度に和歌山市が実施した「男女共同参画社会に関する市民意識調査」によると、全体の理想では「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」と「個人の生活」をともに優先したいが最も高くなっています。現実では「仕事」と「家庭生活」を優先しているが最も高くなっています。



# の実現に向けて！！

## ワーク・ライフ・バランスを実現することによるメリット

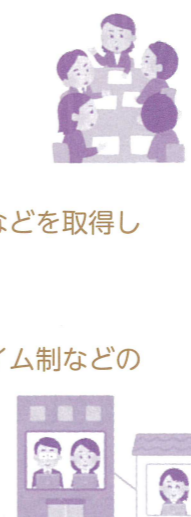
- 仕事が充実していると、自身の生活にもゆとりや満足をもたらします。
- 家庭生活や自分の余暇が充実していると、仕事にも意欲がわいてきます。
- ワーク・ライフ・バランスを推進することにより、仕事の充実感と生活の充実感の相乗効果が生まれます。



## ワーク・ライフ・バランスの実践のために取り組みたいことを紹介します

### 企業や組織の取組

- 働き方の見直し  
業務の効率化や平準化  
長時間労働の是正
- 仕事と生活の両立支援  
育児、介護休業や各種休暇などを取得し  
やすい職場環境づくり
- 多様な働き方の導入  
テレワークやフレックスタイム制などの  
積極的な導入



### 個人の取組

- 適切な時間の管理  
無駄な仕事がないか確認する  
効率よく業務を行うための業務計画を立てる
- 意識改革  
メリハリをつけて働く  
コスト意識をもって働く
- 家庭生活の充実  
育児や介護、家事などの分担について  
しっかりと話し合う
- スキルアップ  
自己啓発や資格の取得  
地域活動やボランティア活動などへの参加



# 女性に対する暴力をなくす運動

## パープルライトアップ

内閣府では、毎年11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間としています。

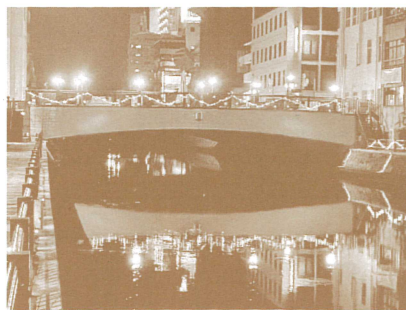
この期間は、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、全国のタワーや商業施設などが紫色にライトアップされます。

和歌山市では、和歌山城ホールと市堀川にかかる京橋・中橋・寄合橋が紫色にライトアップされました。

### 令和4年度のパープルライトアップの様子



和歌山城ホール



京橋



中橋



寄合橋

### パープル・ライトアップに込められたメッセージ

パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。

皆さんも紫色に輝くライトアップを見た時には、ぜひこのことを思い出してください。



# SOGIについて知っていますか？

SOGI (ソジ・ソギ) とは、自分はどのような性別の人を好きになるかという性的指向 (Sexual Orientation) と、自分は自分の性をどのように認識しているかという性自認 (Gender Identity) のことです。

例えば・・・

自分は女だと認識している (性自認は女)  
恋愛対象は女性だ (性的指向は女)

自分は男だと認識している (性自認は男)  
恋愛対象は男性だ (性的指向は男)



自分は女だと認識している (性自認は女)  
恋愛対象は男だ (性的指向は男)



また、性的指向や性自認に関して行われる嫌がらせや差別的な言動などのハラスメントを「SOGIハラ」と言います。

具体的には、本人の同意を得ないで、ほかの人に公にしていない性的指向や性自認を勝手に伝えるアウティングや、心と体の性が一致しない方に無理やり望まない性別の服装や振る舞いを強要することなどがあります。

SOGIとは人の性のあり方を表す言葉で、異性愛の人も含めてすべての人が持っているものです。多様な性のあり方について理解を深めて、誰もが過ごしやすい社会を作っていきましょう。



## みらい相談室だより

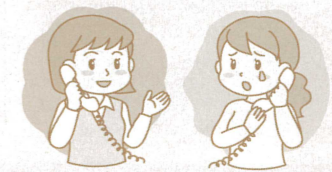
辛い思いを聞いてくれる人はいますか。

家族や友達、あなたの気持ちを受け止めてくれる人はいますか。

辛い思いを抱え込まないで、少し誰かに話せたら、抱え込んでいた辛さが、軽くなるかもしれません。

一歩を踏み出すお手伝いができればと思います。

1人で悩まないで、電話で話してみませんか。



## 男女共生推進センターみらい相談室

相談専用電話 073-431-5528

相談時間 10:00~16:00 (休館日・祝日を除く)

\*女性相談員による相談電話です。\*ナンバーディスプレイは使用していません。



# 男女共生推進センター“みらい”

開館時間 8:30~21:00



## 5階

### 研修室 (定員54人)

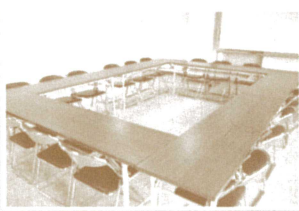


#### 【利用料金】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 午前<br>(9時~12時)  | 4,190円 |
| 午後<br>(13時~17時) | 5,550円 |
| 夜間<br>(18時~21時) | 4,190円 |

- ・各種会議や研修会、合唱の練習等でお使いいただけます。
- ・電子ピアノ (1回 520円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

### 第1会議室 (定員18人)



#### 【利用料金】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 午前<br>(9時~12時)  | 1,460円 |
| 午後<br>(13時~17時) | 1,880円 |
| 夜間<br>(18時~21時) | 1,460円 |

## 6階

(客席・舞台あり)

### ホール (定員153人 194.36㎡)



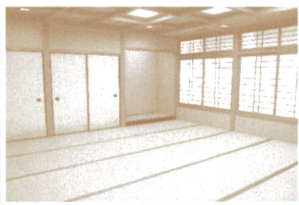
(フラット)

#### 【利用料金】

|                 | ホール    | 控室   |
|-----------------|--------|------|
| 午前<br>(9時~12時)  | 6,070円 | 520円 |
| 午後<br>(13時~17時) | 8,060円 | 620円 |
| 夜間<br>(18時~21時) | 6,070円 | 520円 |

- ・ピアノや合唱の発表会、練習、ダンスや体操等でお使いいただけます。
- ・ホールご利用の場合に限り、7階の控室のご利用が可能です。
- ・グランドピアノ (1回 3,140円)、スクリーン (無料 ※プロジェクターはご持参ください) 利用できます。

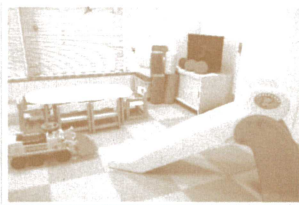
### 和室 (18畳)



#### 【利用料金】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 午前<br>(9時~12時)  | 2,400円 |
| 午後<br>(13時~17時) | 3,140円 |
| 夜間<br>(18時~21時) | 2,400円 |

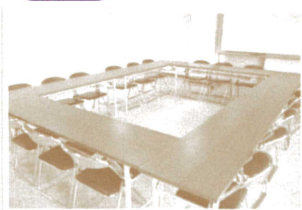
### 子供室



当課主催の講座開催時等における一時保育の場です。また、貸館利用される方のお子さんは、保護者の方と一緒に遊ぶお部屋となっています。  
※子供室だけのご利用はできません。

## 7階

### 第2会議室 (定員18人)



#### 【利用料金】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 午前<br>(9時~12時)  | 1,460円 |
| 午後<br>(13時~17時) | 1,880円 |
| 夜間<br>(18時~21時) | 1,460円 |

男女共生推進センター“みらい”では、各種施設を貸出しています。  
新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用に際して留意事項があります。  
詳しくはお問い合わせください。



てをあらおう

## 和歌山市男女共生推進センター“みらい”

所在地 〒640-8226 和歌山市小人町29番地  
(あいあいセンター5~7階)

TEL (073) 436-8704

FAX (073) 432-4704

Eメール danjokyousei@city.wakayama.lg.jp

開館時間 8:30~21:00

(貸館受付、及び図書室利用時間等窓口業務は9:00~17:00)

休館日 月曜日、年末年始(月曜日が祝日と重なる時は、その次の平日)

交通 JR和歌山駅からバス停「市役所前」下車、徒歩5分

南海和歌山市駅から徒歩10分

※地下駐車場は、駐車台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください

